子ども・若者活動拠点の整備について

**１．検討の経緯等**

■「今後の児童センターの方向性（Ｒ４年度）」に基づき、特色のある児童センターへの改築の検討に係る予算付け（５，０００千円）

■R４年度に実施したアンケートに加え、R５年度は各種ワークショップ等により意見を抽出し、全体の基本構想に着手した。

**２．意見把握状況**

**①意見聴取方法**

■児童センター職員によるＰＴ（3回開催）

■児童センター利用者ワークショップ

■子ども若者応援フリースペースワークショップなど

**②各種ワークショップなどで寄せられた意見（必要な機能等）**

**③建物**

**【現在の状況】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【改築後】**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **内容** |
| 所在地 | 南品川4-5-28 |
| 建築年 | 昭和53年(築45年) |
| 敷地面積 | 1,297.88㎡ |
| 建築面積 | 437.5㎡ |
| 延床面積 | 828.16㎡ |
| 高さ･階数 | 約11ｍ 地上2階 |

**◎子ども・若者活動拠点・児童センター共通事項**

・地域の連携　・多世代交流機能　・Wi-Fi設置・タブレット端末貸し出し

**◎子ども・若者活動拠点に関すること**

・女子・小学生など属性別の部屋
・工作室、調理室等目的別部屋
・女性も通いやすい工夫
・専門性の高いスタッフの配置

**◎児童センターに関すること**

・「乳幼児・小中高生・若者」それぞれ階で区切った利用
・交流フリースペース・ラウンジ
・バスケ、バレーなどスポーツができる場所

|  |
| --- |
| **内容** |
| 850㎡ |
| 3,500㎡ |
| 約15ｍ 地上5階 |

文教委員会資料

令和６年１月22日

子ども未来部子ども育成課

**３．検討を踏まえた施設のコンセプト**

・「児童センター」、「子ども・若者活動拠点」双方において求められている機能は

概ね同様であるため、

**⇒「子ども・若者まんなか拠点」**として、**乳幼児から青少年までの多世代、地域との交流施設を**コンセプトに運用を検討する

**４．施設の特徴**

★施設利用の比重は**「子ども・若者活動拠点」に重きを置く。**

小学生から40歳程度までが、夢を描け、リスタートするための**総合支援拠点**

**の開設**を計画する。

●子ども・若者活動拠点施設・共有スペース部分
対象：小学生から４０歳程度までのすべての青少年
機能：生きづらさを持つ若者の居場所・地域活動参加・就労体験・キャリア形成セミナー等

●児童センター機能
対象：０～１８歳利用可能としつつも、乳幼児メインの機能とする
（小学生～１８歳までのスペースは子ども若者拠点と共用）

◎生きづらさを持つ青少年向け

**・**居場所機能**、地域(青少年委員等)・若者同士がつながる機能**

◎既に目標を持つ青少年向け

・**区内企業(CSR推進協議会企業・スタートアップ)との連携・キャリア形成、社会体験プログラム等の機能**

**５．施設の運営**

施設運営に係る手法については、従来の委託や指定管理、または青少年健全育成に関する経験を持った職員の配置など、幅広く検討を行う。

**６．スケジュール**

